

# 地域と行政が理解し合い、協力連携していくために

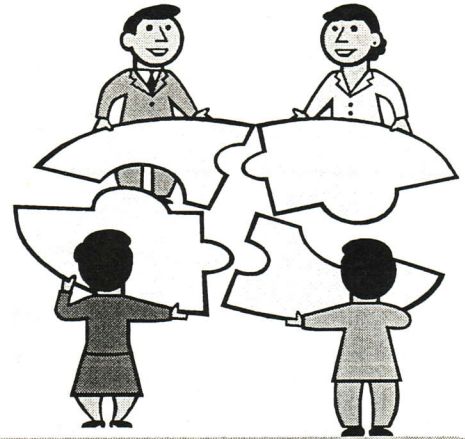
～自分たちの住むまちに関心を持ち、まちの課題を自らの課題として受け止め、情報を共有し、お互いを尊重しながら話し合いを積み重ね、より良い解決方法を見つけ出し、責任を持って実行していく～

このことを一緒に実現していくためには、地域と行政の相互理解と役割分担が欠かせません。そのために必要な行政側の仕組みなどについて検討をすすめています。

## 【地域の声】

「地域だけで『地域コミュニティをきちんとしてい  
け』と言われても無理。市も一緒にやっていくとい  
うスタイルで、軌道にのるまでのヒト・モノ・カネのア  
シストをお願いしたい。」

「市は、住民一人ひとりが地域を『自分のまち』とし  
て思い、当事者意識を持てるように方向づける支援を  
してほしい」



## 地域の段階に応じた役割分担・支援をしていきます

地域の意識を高める、地域で課題を発見し共有するなど、地  
域の特性や活動の段階に応じた役割分担・支援が必要です。

⇒p2～3

## 【地域の声】

「行政の縦割りというものを非常に感じる。地域の  
課題について、まず誰に相談したらいいかというこ  
とになった場合、行った先でたらいまわしにされる  
という状況が非常に多い。」

## 地域と顔の見える関係を作り、課題解決に向けて、

## 一緒に考え取り組んでいきます

地域との協力連携を進めていくために、地域の情報・課題  
を把握し地域と行政をつなぐ窓口と、行政内部の横断的体制  
が必要です。

⇒p4



段階1) 地域団体が個別に活動

地域団体同士の連携の仕組みなし

知る、学ぶ

「他の地域はどうしているの?」「活動をもっと活発にしたい」

※ 市内全地域に対する支援

- 情報提供、相談、助言
- 地域課題セミナーや研修等の開催、普及啓発など

段階2) 団体同士がイベント・事業ごとに連携

情報交換や交流会、まつりや体育祭の共同開催など

機運を高める

「地域のこと、皆でいろいろ話し合ってみようよ」  
「『地域カルテ』を作ってみよう」

- 情報提供、相談、助言
- 地域内のコーディネート  
地域団体や事業者、NPOなどがつながり、話し合うためのきっかけづくりをお手伝いします。
- 『地域カルテ』の作成支援  
『地域カルテ』作成のためのワークショップ等のお手伝い、また必要に応じて行政が持つ地域の基礎データ(人口・世帯数、犯罪発生件数等)を提供します。
- 『ラウンドテーブル』等の実施の支援など  
ラウンドテーブルの実施についてのアドバイスや事前準備・当日運営のお手伝いをします。



段階3) 地域のことを皆で話し合い、いろいろな人・団体が協力・連携して取り組む

活動イメージ

- ① 課題共有のための情報の受発信や、地域ニーズや課題の集約、整理をします。
- ② 課題の優先順位や事業実施などについて協議、合意形成します。
- ③ 解決に向けて協力連携して事業を実施します。

地域自治委員会(協議・決定機関)

各種団体の代表、各活動部会の代表、公募市民等で構成し、各種団体の内の一つが事務局を担います。

活動部会(実行機関)

複数の分野にまたがる活動や、これまでなかった新しい課題解決のための活動について、各種団体のメンバー、個人参加の市民などで構成する部会を設置し活動します。

段階3への準備と合意形成

「地域の課題について皆で話し合い解決していこうよ!」  
「地域の皆の理解と合意を得よう」

課題解決に向けて活動

「『地域づくり計画』を作って地域の将来の姿、取組みの進め方を共有しよう」  
「来年までに、こどもたちの登下校を見守るしくみをつくる」  
「市と一緒に公園をつくって、地域で管理していこう」 などなど

- 情報提供、相談、助言
- 『地域づくり計画』の作成支援  
『地域づくり計画』作成のためのワークショップ等のお手伝いやアドバイスをします。

- 包括的な補助金の交付、行政事業の委託 など  
地域の合意のもと、地域特性に合った使いやすい補助金の交付、公園や施設等の管理を委託します。(→次回以降に検討していきます)

地域担当

市



## 「地域担当」と行政内部の連携について

Q. 「地域担当って？」

A. 地域と行政をつなぐ窓口となり、相互理解と信頼関係を深め、課題解決に向けた地域の自主的な取り組みを応援します。

Q. 「どんなことをするの？」

- A. ①各地域の広報誌やイベント情報や、地域に関係する行政情報などを収集し提供します。  
②地域活動や地域の運営に関する相談を受け、解決策について一緒に考えます。また、ラウンドテーブルの開催や地域カルテ・地域づくり計画作成のお手伝いをします。  
③地域活動に対する行政の各種支援制度や助成金の案内、担当課への連絡・調整をします。

Q. 「どこにできるの？」

A. 公民館などの地域に身近な施設に地域担当窓口を置きます。

(理由)

○地域の人々が活動の合間に立ち寄りやすく、気軽に担当者に相談したり、地域情報や行政情報を収集することができます。

○地域内外問わず多くの人々が集まる場所ですので、情報交換や新しいつながりが生まれることが期待できます。

Q. 「行政内部ではどうやって連携するの？」

- A. ①各部に推進員を置き、庁内で地域に関する情報共有を図ります。  
②複数の課で支援・協働する必要がある地域課題が発生した時はプロジェクトチームを設置し解決に向けた協議をします。

### 【用語解説】

#### ① ラウンドテーブル

地域をベースに活動している団体や人が集まり、自由に情報交換や意見交換できる開かれた場。人と人、団体と団体等が知り合いつながる機会にもなります。

#### ② 地域カルテ

地域の基礎データ（世代別人口や犯罪発生件数、選挙の投票率、文化財等）に住民が収集・作成した情報（こどもの遊び場や歩いていて危険な個所、美しい街並み、お店の分布、祭りの情報等）を重ねていきます。こうすることによって地域の課題や資源を発見しみんなで共有することができます。

#### ③ 地域づくり計画

こんなまちにしたいという将来のビジョンを皆で共有し、それを実現していくための方策をまとめたものです。これを作成することで地域の課題解決の優先順位や実施時期、役割分担等が明確になります。

#### ④ ワークショップ

色々な作業を通して参加者が平等な立場で意見やアイデアを出し合い、できるかぎり多くの意見をまとめたり解決策を整理して共有していくための方法です。





# 地域のことをみんなで話し合い、協力・連携して取り組んでいくために

私たちを取り巻く環境は少子高齢化や近隣関係の希薄化など大きく変化しており、地域のニーズや課題も多様で複雑なものとなってきています。このような状況の中、子どもの見守り活動や自主防災活動など地域コミュニティの自主的な活動が、ますます大切になっています。

## 一方、地域では・・・ (市民意見交換会等でのご意見から)

地域の組織が多く、同じ人が掛け持ちで役員をしているのが現状。特定の人に負担がかかる。

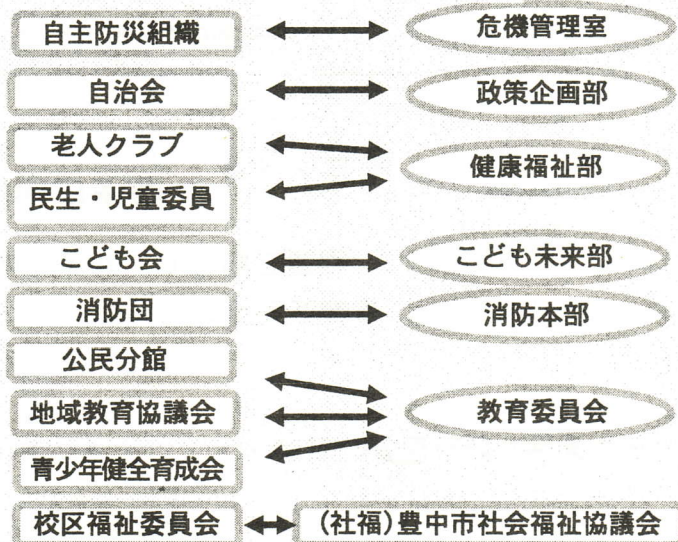
自治会・公民分館・校区福祉委員会が独立して活動していて、横の連携がうまくいかない。

地域の色々な団体が一堂に会する場や仕組みや地域のまとめ役が必要では？

行政からの補助金は、他の支出に流用できない、翌年に繰り越せないなど、使いにくい！

これまで行き当たりばったりで色々な組織ができ、ふたを開ければ活動内容は同じ。どうにかならないか？

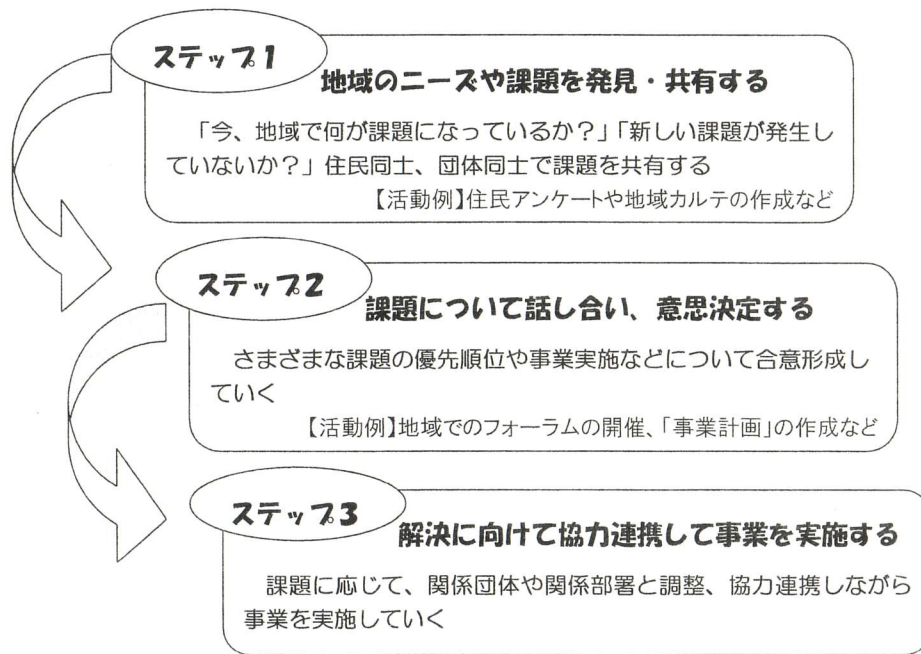
[参考：地域団体（一部）と行政所管部局]



こうした背景・現状をうけて、豊中市は、自主的な地域活動を活発に展開できるような環境を整え、「地域の問題について地域で話し合い、地域のことは地域で決める、いろいろな団体が連携し解決に向けて取り組んでいく」ために必要な地域と行政双方にしくみについて、平成21年度から2カ年かけて重点的に検討していきたいと考えています。

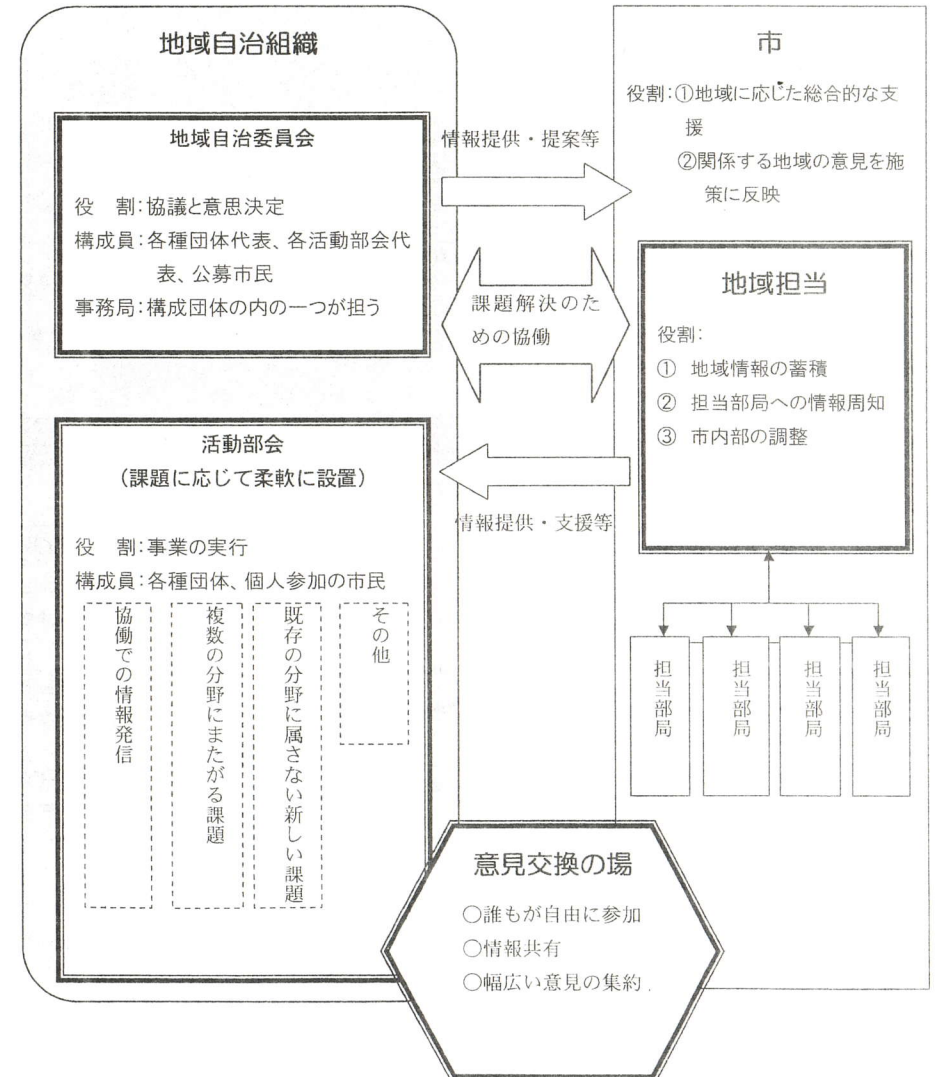
# 地域の安全、福祉、環境その他さまざまな課題について地域で話し合い、 いろいろな団体が協力・連携し解決に向けて取り組んでいく(=「地域自治」)ために、必要な仕組みや支援は？

◀「地域自治」の具体的な活動イメージ▶

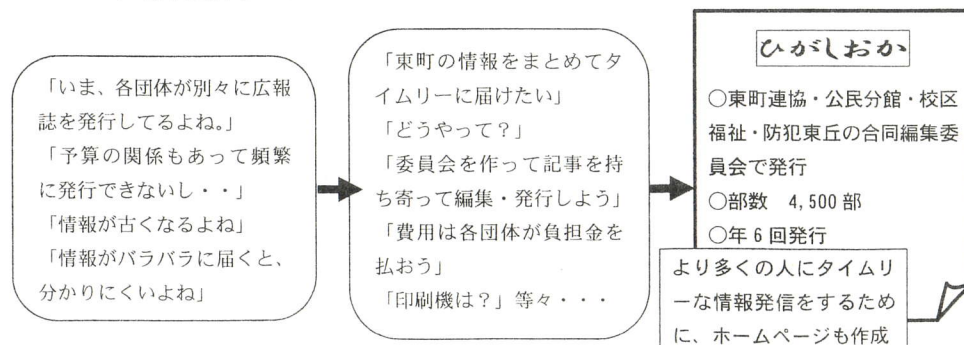


このような活動を地域で実施していくために...

◀「地域自治」の仕組みのイメージ(たたき台)▶



たとえば、新千里東町では・・・





このような仕組みについて、地域の皆さんと  
ともに考え、つくっていくために・・・

地域特性を考慮した豊中スタイルの地域自治の仕組み（「地域自治システム」と呼んでいます）  
をつくるため、行政素案に対して新千里東町のみなさんと意見交換をしながら、地域自治システ  
ムの調査検討や制度設計をしていきたいと考えています。（「地域フィールドワーク」と呼んでい  
ます）

【平成21年度実施内容及びスケジュール】

時期	検討項目	備考
9月19日	地域自治組織のあり方 について	～使いやすく柔軟性のある枠組に～ 東丘校区の活動や組織運営の実態と行政素案を重ね合わせることで、 実効性が持てるか、柔軟な制度運用が可能かを点検
11月中旬	地域と行政の役割分担 について	～地域自治組織の権限を明らかに～ 望ましいあり方や現状からみた課題について行政素案をもとに意見交換
1月下旬	行政の支援策について	～地域ニーズに沿ったあり方に～ 行政の支援策及び行政組織のあり方について、行政素案をもとに意見交換

【進め方】

